

資料 6

検査官: ジョセリン・モイール

学位: 人文社会学士

教員資格: 教育者ディプロマ (中高教育)

住所: ○○ St Taupo

E-メール: joce@reap.org.nz

電話: ○○○○○○○○○○

NZCER 登録者

A, B, Csp 及び C 分析者

SPELD NZ 登録済分析者

認知および教育のアセスメント

氏名: A・K

生年月日: ○○/○○/○○○○

アセスメント日: 31/07/2014

アセスメント時の年齢: 12 歳 6 ヶ月

保護者名: ○○ と ○○

住所: タウポ市 ○○ストリート

固定電話: ○○ 携帯: ○○ E-メール: ○○@○○

学校: ヒルトップ学校

紹介理由: A は学校での進み具合に関する懸念を受け、現在の学業成績のレベルを判断するために認知および教育評価を受けるよう紹介されました。

特別評価条件

このアセスメントの結果 A は限局性学習障害であるディスレクシア（読字障害）及びディスグラフィア（書字障害）の側面に一致する症状を示している事が見出されました。彼女の知的能力と、彼女の読字/書字完遂能力の間には**大きな隔たり**があります。A は Reader and Writer = 読み書きを代理する専門職（または補助テクノロジー機器）を利用することで恩恵を受け、かつ関連する試験や評価には延長した時間をとる必要があります。何故なら非常に遅延した読み書き能力のために彼女は、種々の教科における自分の知識を十分に試験で発揮できないからです。Reader and Writer を付けること（又はノートパソコン）そして試験時間の延長は、他の生徒にとって不公平になるような有利さを彼女に与える事にはなりません。加えて彼女の深刻な学習障害は、知能の低さや語学力の無さ、または一般常識の欠損から来るものでは決してありません。

アセスメントの要約

アセスメント要約は、後述の情報の理解を助ける為にこのレポートの初頭部分に導入されるものです。背景情報の裏付け、そして認知と達成テスト結果の詳細レポートを伴う観察はこのレポートで後述されます。

A は非常に協力的であり彼女とは心地よくアセスメントに取り組むことができました。彼女の手元の作業をするその注意深さと、全てのアクティビティにおいて最善を尽くそうとする強い熱意に私は大変驚かされました。

COGNITIVE ABILITY 認識能力

WJ III GIA (Ext)で判定した A の知的能力全般は、彼女と同年代の子ども達の平均的なスコアよりも高い領域にあります。彼女の認識の側面は、一般の平均スコアに比べて低レベルだったり最上級レベルだったりの不均一さが見られます。

選択したセットでのAの認識能力において、Aは特に視覚－空間思考にかなりの知力を持っています。視覚－空間思考とは、視覚記憶を含む受容・分析・総合・視覚パターンで思考するAの能力の指標です。Aの視覚－空間思考の基本スコアは彼女と同年代の平均スコアよりも非常に高いレベルにあります。彼女の視覚－空間思考能力はかなり高度であり、同年代の子ども達が行う視覚記憶や視覚イメージを必要とする精神的操作のタスクは おそらくAにとっては簡単過ぎるかもしれません。

流動性推理とは、理由付け、形態の構想、馴染みの薄い情報や小説手順を使った問題解決能力の事です。Aの流動性推理の基本スコアは年齢の割には優秀な範囲にあります。彼女の流動性推理能力は高度であり、同年齢レベルが行う 区分や関係の特定、推論の一般化や描写、概念の認識と形成、結論の導出といったタスクは、Aは非常に容易にこなせると考えられます。

また A は長期想起検索能力にも比較的長けています。長期想起検索能力とは、情報を探して引き出したり保存する、つまり情報の保存と検索能力の事です。彼女の長期想起検索スコアは同年代のレベルの中ではかなり上位にあります。Aはおそらく、この年齢が与えられるタスクで、長期記憶から滑らかに情報を引出して検索したり保存したり戦略タスクは全く容易にこなしているでしょう。

A の基本スコアのうち、標準レベルにあるものは

理解力－知識（語彙の知識と一般的言語知識の深さ）

- 処理速度（単純な認知タスクを迅速に実行する能力）
- 短期記憶（情報を即座に認識し、数秒以内に使用する能力）

です。A の聴覚処理/音素認識（音を聴き、識別し音を扱う能力）の基本スコアは標準領域に有りますが、彼女の音素認識の基本スコアは一般的な知的能力から予測されるスコアよりもやや低く、A の読む能力と文字をつづる能力に影響しているかもしれません。A の認知作業の全体的な流暢さは同年代の年齢層と比較して平均から上級レベルにあります。

ORAL LANGUAGE 口頭言語

Aの全体的な口頭言語能力は同年代のグループと比較すると標準レベルにとどまっています。彼女の口頭能力（語彙知識と、一般的な言語知識の深さ）の基本スコアは標準領域に有りますが、彼女の聴解力の基本スコアは標準より低い領域に有ります。Aの全体的な口頭表現力の基本スコアは標準領域に有りますが、Aは記憶している物語を流暢に明瞭にストーリー形式で表現する物語想起のタスクは困難です。

ACHIEVEMENT 成果

同年代の得点範囲と比較すると、Aの基本スコアは幅広い読解スキルと基礎読解スキルにおいて低い水準に有ります。彼女の読解力の基本スコアは低標準域に有ります。Aの基礎的の作文スキルの基本スコアは低い領域に有り、Aの幅広い書き言葉の基本スコアも低い領域に有ります。Aの文章表現の基本スコアは標準域に有ります。

Aの音素/書記素の知識は限局的です。学業上のタスクをこなす際のAの全体的な流暢さは標準域に有ります。

能力/達成度の矛盾が存在するかどうかを判断するために、Aの認知能力、口頭言語能力、そして達成度のスコアを比較しました。

全体的な知的能力と比較すると、Aの成績は「幅広く読むスキル」「基礎的な読むスキル」「読解力」の分野で、予想値を大幅に下回っています。また彼女の成績は、「幅広い書き言葉」「基礎的な作文スキル」の分野でも、彼女の一般的な知的能力から予測される値を大幅に下回っています。

- Aの基礎的な作文スキルの達成度は、彼女の口頭言語能力から予測されるレベルよりも著しく低いです。彼女の幅広く読むスキル、基礎的な読むスキル、読解力、そして幅広い書き言葉の達成度は全て、彼女の口頭言語能力から予測されるレベルよりやや低目です。
- Aの全体的な口頭言語能力と聴解能力も、彼女の一般的な知的能力から予測されるレベルより大幅に下回っています。

Aのこのアセスメント結果は、特定の学習障害であるディスレクシア（読字障がい）とディスグラフィア（書字障がい）に関連する症状を示しています。Aの読解と書字の成績は、彼女の他の学力能力と食い違いがあります。Aが読解と書字の課題の進歩に苦勞しているのは、音を扱う能力が弱いことに関係している可能性があります。

この観察を裏付ける証拠は次の通りです：

- 全体的な知的能力と読字/書字達成度の間、そして口頭言語達成度と読字/書字達成度の中に中等度から重大なレベルの差がある。
- オルトグラフィ（綴り・正字法）の認識力が低い
- 限られた音素/書記素の知識
- 単語の音を扱うことが弱い
- 手書きが困難

BACKGROUND INFORMATION 背景情報

早期発達: Aは正常妊娠を経て34週での早産で生まれました。Aは幼児期の発達段階の殆どを通常の期間内に達成し、12ヶ月で四つん這いをし歩行し出しました。彼女が短文を話し始めたのは同年代の子よりも遅く、36ヶ月目でした。

視力と聴力: Aの聴力は検査済みで、問題は報告されていません。彼女は乱視の矯正訓練をする道具が処方されています。また、視線追跡のための視力療法も継続して受けています。

健康状態: Aは健康です。

学歴: Aは6歳で日本からニュージーランドに移住し小学校に入学しました。彼女は日本で幼稚園に通っていました。彼女はニュージーランドで1校に通学し、定期的に登校しています。Aは補助教員とリーディング・リカバリー（ニュージーランドで開発された、読み書きが難しい小学1年生の児童のためのサポートシステム）の支援を受けています。

Aの小学校担任であるタイラー先生は、Aはやる気のある生徒で正式な教育カリキュラムにおいて非常に前向きな姿勢を示していると評しています。Aは音楽の才能があり、バイオリンを弾き、歌を歌ったり作曲するのが好きです。彼女は協調性があり、学校の規則を問題なく守る生徒です。

タイラー先生によるとAは不規則な単語の読み書きや、読み書きにおける文字の音や連結音の使用にしばしば困難を抱えているそうです。時に彼女は、文字を組み立てたりはっきりと書くことに困難を覚えることがあります。Aは口頭での言語理解と使用にしばしば困難を抱えます。彼女は特に口頭での表現に困難を覚え、情報や考えを急いで伝えようとするあまり、言葉が不明瞭になります。時にAは空間認識やパターン、デザインを扱うことに困難を感じます。計画を立てたり、その計画に沿ったりするのが難しい事もあります。

タイラー先生からのレポートによると、Aは読書の課題を自分でこなし、同年代の生徒達と同様のレベルで取り組んでいるとのこと。彼女のランニングレコードのスコアは正確性が94%、理解度が75%でした彼女の読解力は10.5~11.5歳の年齢レベルです。AのPAT（NZCER's Progressive Achievement Tests）スタナインは延長時間を設けた上で3でした。Aは読書に自信を持つようになり、クラスの皆の前で読むようになりました。Aは文章中の文字情報を見つけることに殆ど困難を感じていませんが、手掛かりを用いて推論する事がより困難です。Aは教室でiPadとWord Qを使っています。彼女はレベル2の能力があり国家標準レベルを目指し学習しています。時に彼女の文章は纏まりなく不明瞭な部分もありますが、タイラー先生によるとAは洞察力に富んだ文章を書いているとの事です。彼女の文章には表面的な誤りが多く見られます。

Aの数学のPATスタナインは3で、基礎知識はステージ6です。彼女は問題を解く際に明確で理論的な手順を示す事がしばしば有ります。小グループでの活動も得意で国家基準を目指し取り組んでいます。Aは同級生と交流するのが難しい事もありますが、グループワークや授業のディスカッションに貢献する能力に自信が付きつつあります。

追加情報: Aは両親のG.BとA.Kと暮らしています。彼女には弟が1人います。Aの母親によるとAはダンスや音楽、絵描き、本読み等楽しんでます。AはまたRDA乗馬とスイミングも楽しんで

います。A は記憶力に問題ありませんが、気が散りやすく集中力に欠く時があるようです。落ち着きがない時も、整理整頓が出来ず協調性に欠ける時もあります。ボールを持つ力は強くありません。A は家族と先生とは極めて良好な関係を築いていますが、友人関係は時に緊張することがあります。A の祖父はディスレクシアです。

OBSERVATIONS 観察

A は検査全体を通してとても協力的で、活動レベルは年齢相応であるようです。彼女は落ち着いており、快適そうで、課題に注意を払っていました。A はより複雑な課題に対しては明らかに努力を増やし、課題が難しくなっても粘り強く取り組みました。A は検査質問には即座に答えましたが、時に答えが衝動的だったり、考えを整理するのに苦労したりする事がありました。また、自分の考えを明確に表現する事に苦労し、口頭での回答がごちゃ混ぜになる事がありました。A の注意力は検査が進むにつれずっと持続しました。—オーストラリア適応基準及び拡張バッテリー—の会話能力は年齢の割には限りがあるように見えました。A は右利きで、書いている時の姿勢は楽そうに見えましたが、鉛筆の快適な持ち方を見つけるのが難しかったようです。彼女は鉛筆を緩く持ち、しばしば持ち方を変えていました。数分以上書いていると手がとても痛くなる、とA は言いました。

TESTS ADMINISTERED 実施された検査

Woodcock-Johnson III (WJ III) Tests of Cognitive Abilities – Australian Adaptation
Standard and Extended Batteries

ウッドコック・ジョンソン III (WJ III) 認知能力検査—オーストラリア適応基準及び拡張バッテリー

Woodcock-Johnson III (WJ III) Tests of Achievement – Form B – Australian Adaptation
Standard and Extended Batteries

ウッドコック・ジョンソン III (WJ III) 達成度検査—オーストラリア適応基準及び拡張バッテリー

結果はアセスメント当日の A の実績を反映しています。解釈と推奨事項は、検査スコア、父 G・B、母 A・K、そして担任のコレット・タイラー先生から提供された背景データ、上記レポート、及びアセスメント最中に行われた観察に基づいています。

RESULTS 結果

WOODCOCK JOHNSON III ウッドコック・ジョンソン 111

The WJ III 認知能力検査は、様々な知的/認識能力を測定する為の、個別に実施される包括的な検査群です。この検査は生後24ヶ月から成人までを対象に標準化されています。

以下はこのレポートで提示された WJ III のスコアの説明です。

RPI スコアは A の **Relative Proficiency Index (相対的熟練度指数)** を表します。これは A の年齢においてそのスキルまたは能力を習得するために必要な“典型的な” (90%) 熟練度と比較した、あるタスクにおける彼女の成功確率を示す比率スコアです。熟練度の平均的な範囲は 75/90 から 96/90 とされています。75/90 に近いかそれ以下のスコアは、A にとっては困難かフラストレーションのレベルと見なされます。

RPI (相対的熟練度指数) スコア範囲タスクは次のようになります:

0/90 to 4/90 極めて困難～不可能
 5/90 to 18/90 極めて困難
 19/90 to 33/90 非常に困難～極めて困難
 34/90 to 67/90 非常に困難
 68/90 to 81/90 困難
 82/90 to 95/90 管理可能
 96/90 to 97/90 容易
 98/90 to 100/90 非常に容易

報告される**標準スコア Standard Scores (SS)**は、平均が 100、標準偏差が 15 ポイントです。各標準スコア周囲範囲 (SEM 値) は測定 of 1 標準誤差を示しています。標準スコアは、被テスト者の年齢層に対する相対的な能力または達成度を示す得点です。

131 以上	121 -130	111-120	90-110	80-89	70-79	69 以下
非常に優れている	優れている	高標準	標準	低標準	低い	非常に低い

パーセンタイル ランク Percentile Rank (PR) は個人の機能を 1 から 99 のスケールで説明するスコアです。これは A と同じスコアを獲得した A の年齢層の割合、または A が年齢層の人よりも優れたスコアを獲得した事を示します (例えば PR 54 なら、A は同年齢層の 54% の人と同じスコア、またはそれよりも優れたスコアを獲得したことを意味します)。これは比較対象の仲間グループ (つまり選択された基準参照に応じて同年代または学年の仲間) に対する統計的なランキングを示します。

RPI スコア、標準スコア、パーセンタイル ランキングは、A の実年齢 12 歳 6 ヶ月の年齢標準に基づいています。

COGNITIVE ABILITY 認知能力

A は WJ III 一般知的能力-拡張スケール (GIA Ext.) WJ III GENERAL INTELLECTUAL ABILITY - EXTENDED SCALE (GIA Ext.) の検査を受けました。このスケールには 14 のテストが含まれており WJ III 認知バッテリー WJ III COGNITIVE BATTERY で表される 7 つの認識要素: 理解-知識力、長期的想起、視覚空間的思想、聴覚的処理、流動的推論、処理速度、短期記憶、のそれぞれについて 2 つの尺度に基づいて、知的/認識能力の幅広い尺度が提供されます。

知的能力 INTELLECTUAL ABILITY

クラスター/テスト	RPI スコア	標準得点 (68%バンド)	パーセンタ イルランク
GIA (Ext.)	94/90	111 (108-114)	77

A の総合的な一般知的能力 General Intellectual Ability (GIA) 標準スコアは、同年代の生徒達と比較して高い平均範囲内にあります。

長期的想起 LONG-TERM RETRIEVAL

クラスター/テスト	RPI	SS (68%バンド)	PR
長期的想起	95/90	121 (115-127)	92
視覚聴覚学習	96/90	115 (108-122)	84
想起の流暢さ	94/90	126 (121-131)	96

長期的想起 Long-Term Retrieval とは、情報を記憶し、それを思考過程の後半で流暢に呼び出す能力です。A の長期的想起の総合標準スコアは、同年代の子ども達と比較すると優れた範囲に有ります。彼女の学ぶ能力、視覚と聴覚の連想に基づく一連の情報を記憶し想起する能力は高度であり、長期記憶から既知の情報を素早く呼び出す能力は標準域です。

視覚空間思考 VISUAL SPATIAL THINKING

クラスター/テスト	RPI	SS (68%バンド)	PR
視覚-空間思考	99/90	141 (131-150)	99.7
空間関係	99/90	130 (121-140)	98
画像認識	100/90	135 (123-147)	99

視覚-空間思考 Visual-Spatial Thinking は視覚パターン、空間構想、視覚的詳細、そして視覚記憶の知覚に必要な能力です。Aにとって視覚空間思考は相対的な認識能力の強みです。彼女の視覚空間思考の標準スコアは年齢の割には非常に優れています。彼女の視覚記憶（画像認識）は非常に優れており、視覚情報を精神的に操作し視覚化する能力も優れています（空間関係）。

聴覚処理/音韻認識 AUDITORY PROCESSING/PHONEMIC AWARENESS

クラスター/テスト	RPI	SS (68% Band)	PR
聴覚処理	90/90	100 (94-106)	50
音のブレンディング	87/90	97 (91-103)	42
聴覚的注意	92/90	106 (97-115)	65

音韻認識	88/90	97 (90-103)	41
音のブレンディング	87/90	97 (91-103)	42
不完全な単語	89/90	98 (90-106)	45

聴覚処理と音韻認識の広範囲な領域には、単語の個々の音を認識し、操作する能力が含まれます。これらのスキルは基本的な読み書き能力と綴り能力の発達に不可欠です。

A の聴覚処理と音韻認識の標準スコアは同年代の生徒達と比較して平均域に有ります。別々の音を組み合わせる能力（音のブレンディング）は A は平均域であり、雑音の中で似た音の単語の音を区別する能力（聴覚的注意）も平均域です。一部の音が省略されている単語を認識する能力（不完全な単語）も平均域です。A の聴覚処理と音韻認識の標準スコアは平均域に有りますが、音韻認識の領域では中程度の認知的弱さが有り、それゆえ読み書きや綴りのために単語内の音を識別し組み合わせる事が困難である可能性があります。

抽象的思考/推論/問題解決 ABSTRACT THINKING/REASONING/PROBLEM SOLVING

クラスター/テスト	RPI	SS (68%バンド)	PR
流動的推論	99/90	121 (117-126)	92
概念形成	98/90	115 (109-120)	84
分析と合成	99/90	125 (118-131)	95

流動的推論 Fluid Reasoning とは未知の情報や新しい手順を含む問題において、推論し、概念を形成し、解決する為の思考能力です。これには帰納的推論（一連の例を見て規則を考え、その規則を用いて問題を解決する能力）と演繹的推論（視覚的なパターンに基づいて与えられた一連の規則を適用して問題解決する能力）が含まれます。

A の流動的推論の総合標準スコアは優等生レベルです。彼女の帰納的推論能力（概念形成）は年齢の割には優れており、これは演繹的推論能力（分析－合成）も同様です。カテゴリーや関係性の識別、推論の導きと一般化、概念の認識と形成、結論の導きといった年齢相応の課題は、A にとっては非常に容易でしょう。

認知効率 COGNITIVE EFFICIENCY

クラスター/テスト	RPI	SS (68%バンド)	PR
認知効率	93/90	105 (101-110)	64
短期記憶	92/90	102 (97-107)	55
処理速度	94/90	109 (104-114)	72

短期記憶能力と処理速度能力を組み合わせることで、認知効率－A が情報を自動的に処理する能力の指標、が示されます。A の認知効率の標準スコアは同年齢の平均的な範囲内です。彼女は即時に意識に留められた情報に注意を払いながら、それを操作したり変更したりする必要がある課題（短期記憶）の成績は平均的であり、スピードが求められる課題（処理速度）の成績も平均的です。

短期記憶 SHORT-TERM MEMORY

クラスター/テスト	RPI	SS (68% Band)	PR
短期記憶	92/90	102 (97-107)	55
数字を逆順にする	96/90	106 (101-112)	67
単語の記憶力	85/90	97 (90-104)	43

短期記憶とは、情報を即座に認識し数秒以内に活用する能力です。Aの短期記憶能力は2つのタスクを通して評価されました。一定範囲の数字を即座に認識してその順序を逆にする課題（逆順数字課題）では、Aの成績は平均から上級レベルでした。無関係な単語のリストを正しい順序で繰り返す課題（単語記憶課題）では、聴覚記憶のスパンを測る指標として彼女の成績は平均レベルでした。

処理速度/認知流暢性 PROCESSING SPEED / COGNITIVE FLUENCY

クラスター/テスト	RPI	SS (68% Band)	PR
処理速度	94/90	109 (104-114)	72
視覚マッチング	91/90	101 (95-107)	52
意思決定の速さ	96/90	115 (109-121)	84
認知的流暢性	95/90	115 (112-118)	84
検索の流暢さ	94/90	126 (121-131)	96
意思決定スピード	96/90	115 (109-121)	84
絵の命名の迅速さ	95/90	106 (104-109)	67

処理速度/認知流暢性は一定時間持続的な注意力を必要とする単純かつ自動的な認知課題を、個人がどの程度の速度と正確性と容易さで遂行できるかに関係します。これは自動処理の領域であり、個人の思考の流暢性と効率性全般に関係します。処理速度は他のあらゆる思考を促進する重要な要素と考えられており、効率的な学びと学業成績にとって非常に重要です。

Aの処理速度の標準スコアは、同年代の子ども達と比較して平均範囲内です。彼女の視覚的な記号の識別（数字の列から一致する2つの数字を見つけて丸で囲む）の速度（視覚マッチング）は平均域であり、概念の類似性に基づいて絵をマッチングする速度（判断速度）は平均から上級レベルです。Aは長期記憶から既知の情報を検索する速度（検索の流暢性）が同年代の年齢層と比較すると平均域です。絵の中の一般的な物の名前を素早く思い出す能力（高速絵名付け）において彼女の成績はより優れていました。

Aの認知タスクに関する全体的な流暢さは平均域から上級レベルです。

ACADEMIC PERFORMANCE 学業成績

WJ III アチーブメント バッテリー The WJ III ACHIEVEMENT BATTERY は読解、口頭言語、数学、文語表現、一般知識における学業成績を測定する、個別に実施される包括的なテストバッテリーです。

口述言語/口頭能力 ORAL LANGUAGE/VERBAL ABILITY

クラスター/テスト	相当年齢	熟達度	RPI	SS (68%バンド)	PR
COMP-知識	11 years-0m	限定的 - 標準	80/90	93 (89-97)	32
口頭言語理解	10-10	限定的 - 標準	81/90	94 (89-98)	34
一般情報	11-2	限定的 - 標準	79/90	93 (87-98)	31
口述言語 (拡張 ext)	9-11	限定的 - 標準	78/90	89 (85-92)	22
口頭表現	10-4	標準域	82/90	92 (87-96)	29
ストーリーリコール	8-4	標準域	82/90	83 (74-91)	2
絵語彙	11-2	標準域	82/90	95 (90-100)	37
リスニング COMP	9-8	限定的 - 標準	74/90	88 (84-92)	22
順序方向を理解	7-11	限定的	59/90	79 (73-84)	8
口頭理解	11-5	標準域	85/90	97 (92-101)	42

全体的に A の口頭言語能力は同年齢層の標準域から限定域の範囲にあります。

- 彼女は様々な一般的な物の名、それらの用途、及びそれらが見つかる場所に関し通常は言葉や経験を通して習得する一般的文化関連の知識（一般情報、絵語彙）を適度持っています。
- 口頭理解課題において、文脈の手掛かりと背景知識を使って短い文章を完成させる能力は、彼女は標準域に有ります。
- 物語中の重要な要素を認識してそれを物語の再話（物語想起）に組み込む能力は、A は同年齢層に比較すると標準域から限定域に有ります。A は思い出した物語の詳細を明瞭にかつ流暢に表現することが困難でした。
- A は言葉での指示（空間、時間、条件、例外、数値に関する指示を含む）を理解し、記憶に維持し、従う能力は限られています。A は指示を順序立てる事が困難でした。
- 口述言語理解 Verbal Comprehension は語彙知識と類推を用いた言語的推論の幅と深さを測ります。A は、示された単語の反意語と同義語を提示する能力、そして単語の意味の関連性を把握する能力（類推）においては標準域から限定域に有ります。

読む事 READING

The **Broad Reading** cluster（幅広く読む/広読クラスター）は読解力の幅広い尺度であり、文字と単語の識別（基本的な読解スキルの尺度）、読解の流暢さ（読む速度と正確さの尺度）、そして章節の理解（理解度の尺度）のテストが含まれます。

The **Basic Reading Skills** cluster（基礎読解スキル クラスター）は既知の単語と未知の単語の識別と分析に関する基本的なスキルを測定するものです。このクラスターには文字-単語の識別テスト（実際の単語のデコード/識別の測定）と *Word Attack*（音声分析と疑似単語のデコード）が含まれます。

The **Reading Comprehension cluster** (読解クラスター) は、読んだ内容の意味を理解する能力を測る指標です。このクラスターには章節理解 (文章の理解) と語彙読解 (単語や類推を読み、適切な意味を補足する) が含まれます。

クラスター/テスト	相当年齢	熟達度	RPI	SS (68% バンド)	PR
幅広く読む	8y-8m	限定的	38/90	78 (75-80)	7
文字と単語の識別	7-9	非常に限定的	4/90	73 (70-76)	4
読みの流暢さ	11-7	標準域	85/90	94 (90-99)	35
章節理解	8-8	限定的	52/90	82 (77-87)	12
基本的な読解力	8-1	非常に限定的	14/90	78 (76-81)	8
文字と単語の識別	7-9	非常に限定的	4/90	73 (70-76)	4
Word Attack	8-8	限定的	43/90	87 (84-89)	19
読解力	9-1	限定的	55/90	81 (78-84)	10
章節理解	8-8	限定的	52/90	82 (77-87)	12
読解語彙	9-5	限定的	58/90	85 (81-88)	15

A の幅広く読む能力と基礎読解スキルの標準スコアは低目の域に有り、彼女の読解力の標準スコアは平均より低い域に有ります。A のこれらの読解クラスターにおける標準スコアは、彼女の通常の知的能力から予測される域よりも大幅に下回っています。

A は基本的な単語の解読に苦勞しています。単語を音節に分解したり、認識できる単語の塊を探したりする等の戦略を用いて解読したにもかかわらず、彼女はリストで提示された知らない単語の解読には苦勞しました。A はまた、Word Attack 課題では非単語の解読にも苦勞しました。これは彼女の綴り処理能力が弱いこと、つまり一般的な文字パターンとその発音を彼女は自動的に認識できない事を示唆しています。

A は読解の流暢さのテストで比較的簡単な文章を読み、その文が正しいか誤りであるかを判断する速度は同年代の子ども達と比較して平均域でした。

文脈の中で提示された未知の単語に直面した際 (章節理解)、A の限られたデコードスキルでは未知の単語が何であるかを推測して読んでいる内容を理解する事が困難でした。このタスクにおける彼女の能力は限られていました。対照的に、同様の解読タスクを口頭で指示された場合、A の成績は**標準域**でした。読解語彙タスクでは、A は読める単語の殆どについて同義語、反意語、類義語を挙げる事が出来ましたが、同年代の生徒と比較すると認識できる単語の数は限られていました。

A は情報を読むよりも情報を聞く方が、より高いレベルの成績を発揮します。彼女の章節理解スコアは、理解力や言語能力や一般知識の不足というよりも、デコード能力の低さと単語自動認識能力の欠如を反映していると考えられます。A の基礎的な読みスキルと読解力の低さは、音韻認識という認知領域の中程度の弱さと関連している可能性があります。

WRITTEN LANGUAGE 書き言葉

広範な書き言葉 The **Broad Written Language** のクラスターは書き言葉の熟達度の尺度であり、綴り（口頭で示された単語を正しく書く能力の尺度）、ライティングサンプル（表現の質の尺度）そしてライティングの流暢さ（簡単な文章を素早く構成して書くスキルの尺度）の検査が含まれます。

基礎ライティングスキル The **Basic Writing Skills** のクラスターは、基礎的な書くスキルを、単独の形式と文脈に基づく形式の両方で測定するものです。綴り（口頭で提示された単語を正しく書く能力の測定）と編集（文章中の誤りを特定し修正するスキルの測定）の検査が含まれます。

書き表現 The **Written Expression** のクラスターは、意味のある文章表現と流暢さを測定するものであり、ライティングサンプルとライティング流暢性が含まれます。

クラスター/テスト	相当年齢	熟達度	RPI	SS (68% バンド)	PR
広範な書き言葉	10-0	限定的 - 標準	67/90	85 (81-88)	15
綴り	8-7	極めて限定的	19/90	74 (70-78)	4
ライティング流暢性	12-7	標準	90/90	100 (93-107)	51
ライティングサンプル	10-7	限定的 - 標準	81/90	92 (87-97)	9
基礎ライティング	8-5	極めて限定的	22/90	75 (72-78)	5
綴り	8-7	極めて限定的	9/90	74 (70-78)	4
編集	8-3	極めて限定的	26/90	77 (72-81)	6
音の綴り	7-9	限定的	56/90	76 (71-81)	6
書き表現	11-7	標準	86/90	96 (91-100)	39
ライティング流暢性	12-7	標準	90/90	100 (93-107)	51
ライティングサンプル	10-7	限定的 - 標準	81/90	92 (87-97)	9
手書き	9-0	標準		92 (86-98)	29

A の広範な書き言葉の標準スコアは低目の平均域に有り、彼女の基礎ライティングスキルの標準スコアも同年代と比較して低い範囲に有ります。彼女の書き表現の標準スコアは平均域にあります。広範な書き言葉及び基礎ライティングスキルの標準スコアは彼女の一般知的能力から予測されるスコアよりも大幅に下回っており、彼女の基礎ライティングスキルの標準スコアもまた彼女の口頭言語能力から予測される値より大幅に下回っています。

綴り: A の綴りは非常に不安定で、正書（文字の順序）と音韻（音と文字の対応）の両方で間違いが起きます。A は聴こえる単語の中の音を識別し正しい文字に当てはめる事に真に苦勞しています。例えば clothes を clhous, general を grernill, drum を dram と書く等です。A は一般的綴りのパターンに対する知識が限られており、規則的な綴りパターンを持つ非単語綴る能力も限られています。単語の解読と同様に A の綴り困難は音を扱う能力の弱さに関連している可能性があります。

編集: 誤った文法、不適切な単語使用、スペリングミスなど文章内のエラーを識別し修正する A の能力は非常に限られています。

書き表現: 3つの単語と絵の指示を与えられた場合に簡単な文を作る速度（ライティング流暢性）は、同年齢層に比べて A は平均域でした。表面的なエラーは見逃されたより長い複雑な文章を書くよう指示されると A は自信を持って書きましたが、一部の回答は課題で求められる表現力を満たすには短か過ぎた為、A の能力は限定的から標準域でした。A は反転の文字を書く事があり、彼女はそれを修正しています。

A は句読点、大文字の使用、単語の使用、手書きに注意を払いながら、文章を構成しつつスペリングを思い出すという複雑な課題には本当に苦労しています。

手書き/筆跡: A の筆跡は読み易いですが、長文を書いたり、制限時間のある課題に取り組む際には、全体的に読みにくい筆跡になります。文字は概ね整っており、文字や単語は線に沿って書かれています。文字と単語の間隔は一定に整っています。A は右利きなので鉛筆を長時間持つ事が困難な様です。長い文章を書かなければならない時、彼女は手が痛くなり頻繁に鉛筆の持ち方を変えました。

音素/書字素の知識

クラスター/テスト	相当年齢	熟達度	RPI	SS (68% バンド)	PR
音素/書字素知識	8-4	限定的	49/90	83 (80-85)	12
ワードアタック	8-8	限定的	43/90	87 (84-93)	19
音の綴り	7-9	限定的	56/90	76 (72-81)	6

音素/書字素の知識 The **Phoneme/Grapheme Knowledge** クラスターは、音声と綴りのパターンとそれらがデコーディング（読み）とエンコーディング（綴り）に適用される一般化に関する A の知識を測定するものです。このクラスターはワードアタックと音の綴りの検査で構成されます。A は規則的な音声と綴りのパターンで非単語を発音する能力が限られており、規則的な音声とスペリングのパターンの非単語を綴る能力も彼女は限られています。

学術的流暢性

クラスター/テスト	相当年齢	熟達度	RPI	SS (68% バンド)	PR
学術的流暢性	12-2	標準域	89/90	98 (95-102)	45
読みの流暢さ	11-7	標準域	5/90	94 (90-99)	35
数学の流暢さ	12-6	標準域	90/90	100 (98-102)	50
書き方の流暢さ	12-7	標準域	90/90	100 (93-107)	51

A が学術的課題を遂行する際の全体的な流暢性（速さと容易さ）は標準域です。具体的には、A の読解力と数学力の流暢さは標準域で、書き方のタスクスピードも標準域です。

推奨事項 RECOMMENDATIONS

学校での調整 ACCOMMODATIONS AT SCHOOL

A の検査結果は、限局性学習障害である Dyslexia（ディスレクシア：読字障害）と Dysgraphia（書字障害）と一致しています。彼女の読解力と書き取り力は、彼女の知的能力を十分に反映していません。彼女が同級生と共に授業に積極的に参加して意味ある学習に取り組むには、追加の支援が必要です。彼女の自信と自尊心を構築するために、彼女が最も得意とする分野、例えば優れた抽象的思考力などに焦点を当ててください。

この分野での困難が A の NCEA 試験（NZ の大学入学準備試験）特別評価条件へのアクセス能力に影響する事を避けるために、A の口頭言語能力を年齢相応レベルまで引き上げる事が必要です。

教育省の教員向け資料“About Dyslexia（ディスレクシアについて）”は、ディスレクシアの生徒を支援するための実践的な方策を教員に提供しています。その他の方策については

<http://www.4d.org.nz/edge/> をご覧ください。

全ての試験に Reader（リーダー：読みの支援者）と Writer（ライター：書字の支援者）を付け（または支援技術の使用を許可）、かつ、試験には追加時間を提供して下さい

A は以下の修正によって恩恵を受けるでしょう

- 音韻意識を養うための沢山のアクティビティ
- 未知の単語を解読する際の沢山の支援；言葉の塊の検索と、一般的な単語パターンの学習
- テープ録音した読書用絵本は A が音と単語の連想を学ぶのに役立つでしょう
- 是非とも、族語、語根、接頭辞、接尾辞を使った綴りのルールを A に教えて下さい
- 教室と宿題の両方で、A が完了する必要があるライティングの量を減らし、代りに追加の時間を与えて下さい
- ライティングとリーディングの課題には iPad とアプリケーションを使い続けて下さい
- リーディングとライティングのタスクには追加の時間を提供して下さい
- 特に黒板からの書き写しのタスクを減らして下さい。配布資料を配ったり、または A が iPad で黒板の写真を撮れるようにして下さい
- 幅広いライティングの課題の場合、アウトライン作成やブレインストーミング（閃き）に役立つビジュアル・オーガナイザーの使用を A に推奨して下さい
- ライティングのタスクにはテンプレートと単語リストを提供して下さい
- A がフォローできるよう指示や手順の視覚的なヒントを提供して下さい
- キーボード入力とワードプロセッサのスキルが上達するよう A を励まして下さい

Nessy Fingers は読字障害者のための非常に優れたタイピングのプログラムです

<http://www.realspecial.co.nz/writing.asp>

読字障害者向けのワードプロセッサプログラムはこちらです

<http://www.ghotit.com/home.shtml>

自宅で AT HOME

視覚処理の問題を除外または確認するために、行動検眼士による視力検査を受ける事を A に勧めます。この検査は Specsavers Taupo 店で 30 ドルで受けることができます。

また、A は口頭での表現や鉛筆の持ち方が困難であることから、言語聴覚士と作業療法士による評価を受けるためにタウポ病院の児童発達チームに紹介されるよう勧めます。

アセスメント REASSESSMENT

アセスメントは 4 年間有効と見なされます。Year10 (10 年生) での再アセスメントが推奨されます (NZQA ニュージーランド資格審査局による)。これは学校が報告書の推奨事項を実施し (介入への対応を観察し報告する)、必要性がある場合に、NZQA への申し込みをする前に支援を要請する機会を得るためです。

このレポートについて何か質問がありましたら遠慮なく連絡下さい。

ジョセリン モイール

NZCER 登録テスター

SPELD NZ 登録テスター

このレポートの最後に添付されているのは以下の通りです:

- 熟達度プロファイル レポート
- 年齢/学年プロファイル
- 実施された WJ111 テストの説明